取組、ありがとうございました！記入したら、早めに提出しましょう！

提出しめきり：令和8年9月15日（火） 必着



© 鹿児島県ぐりぶー

提出方法

＜個人でお申込みの場合＞

環境レター（この冊子）の記入が終わりましたら、提出先へお送りください。

＜学校でお申込みの場合＞

ご担当の先生にて、環境レター（この冊子）を取りまとめていただき、提出先へお送りください。（着払いでの送付が可能です。）

※提出しめきり：令和８年９月 15 日（火）必着　※例年より早くなっています！

提出先

〒891-0132　鹿児島市七ツ島１丁目１番地５
一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
かごしまこども環境大臣事務局　宛

環境レターを提出した方の中から、「優秀賞」、「奨励賞」、「学校賞」を選びます。
優秀賞に選ばれた方は、鹿児島県知事が、「かごしまこども環境大臣」に任命し、県主催の環境イベントなどへの参加を通して地域や学校の環境保全のリーダーとして活動していただきます。

かごしま こども環境大臣
Minister of the Environment

- 表彰者及び表彰式の様子等はホームページなどで紹介します。
- 「優秀賞」を受賞された方は、受賞後２年間は「優秀賞」の再受賞はありません。
- かごしまこども環境大臣の詳細については、県のウェブページをご覧ください。⇒

※ご提出いただいた環境レターの返却は行いません。必要な方はコピー等をお取りください。
※本事業における個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法令を遵守し、収集した個人情報は、本事業の目的のみに使用し、本事業の業務委託先以外に第三者に開示・提供することはありません。

お問合せ先

かごしまこども環境大臣事務局
一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
〒891-0132　鹿児島市七ツ島１丁目１番地５
TEL：099-284-6013　　FAX：099-284-6257
E メール：CO2@kagoshima-env.or.jp　　【8：30－17：00　土日祝休】

主催　鹿児島県環境林務部環境林務課地球温暖化対策室
発行　一般財団法人鹿児島県環境技術協会　鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
鹿児島県地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、本県の地球温暖化対策にかかる普及啓発の拠点として設置され、県民や事業者等に対する地球温暖化防止活動の指導・助言などを行っています。

令和8年度版

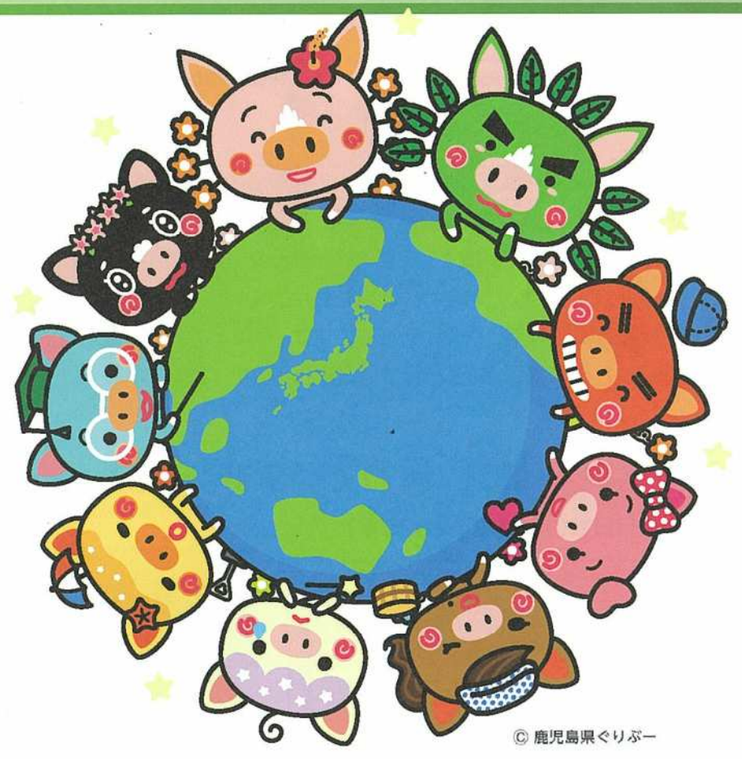
かんきょう

環境レター

1525

グリーン日記・手紙

地球温暖化対策のために、省エネルギー・省資源に取り組んで、手紙を書きましょう！



© 鹿児島県ぐりぶー

＜取組期間＞　7月 18 日(土)～8月 18 日(火)

（学校名）　鹿児島純心女子中学校　　小学校／中学校

ふりがな　したたけはら　さや
３年　Ａ組　名前　下竹原　沙和

鹿児島県

■手紙■　手紙を書こう！

①題　名　手紙の題名を書いてください。

②内　容　みなさんが日頃から自然や環境を大切にするために行っていることや考え、グリーン日記をつけてみての感想などを、未来の自分や世界の人、県知事など自由に選んで手紙の形で書いてください。

③用　紙　手紙の用紙は7～8ページを使ってください。1枚以上、2枚以内。

手紙の題名　言葉のバトン、繋ぎます！

私には、ずっと尊敬し、その背中を追い続けている大切な友達がいます。彼女は幼い頃から音楽が大好きで、同時に「地球の環境を良くしたい」という強い願いを持っていました。今、彼女は海に落ちているプラスチックゴミや空き缶などを集めて自ら楽器を作り、それを使って演奏会を開くという活動をしています。ただ嘆くだけでなく、自分の「好き」という気持ちと「世界を変えたい」という強い願いを掛け合わせ、美しさに変えていく彼女の姿は、連絡をあまり取らなくなった今でも、私の心に深く焼き付いています。海のゴミが彼女の手で温かい音色に生まれ変わるたび、私は「行動する美しさ」を教えられてきました。「私も彼女のように、自分にしかできない方法で地球のために動き出したい。」その強く突き動かされた私は、自分の得意な「英語」を武器に地球温暖化の現状を訴えかける活動を始めました。ただ黙々とゴミを拾うだけでなく、国内外の多くの人にこの問題の深刻さを知ってもらうため、英語のメッセージボードを掲げて地域のゴミ拾い活動に積極的に参加しました。さらにその経験を胸に、学校のスピーチ大会のステージに立ちました。全校生徒や

先生方の前で、私は「地球温暖化という危機に対し、私たちが今すぐ日常を変えなければならない理由」を、英語で訴えかけました。私の言葉で会場の空気が変わり、多くの友達が真剣な表情でうなずいてくれた瞬間、言葉が持つ力を肌で実感しました。

そして我が家では、スピーチ大会を機に「家族でエコを語る英語ディナー」という時間を設けています。週に一度の夕食時、その週に実践した省エネや環境への取り組みを簡単な英語で報告し合う習慣です。例えば、家族それぞれが「今日どれだけ節電できたか」「プラスチックをどう減らしたか」を“We saved energy today!”や“No plastic bags, please!”と笑顔で言い合います。最初は恥ずかしがっていた両親も、今では「明日はもっと温度設定を工夫しよう」「マイバックを忘れないようにしよう」と、自発的に声をかけ合うようになりました。一人の友人の背中から始まった私の感動は、スピーチ大会を経て学校を動し、やがて家族の毎日の習慣をも変える大きな波となっています。

大好きな音楽で世界を癒やす彼女のように、私はこれからも「言葉」と「行動」で、地球温暖化という大きな壁に立ち向かい続けます。私一人の声は小さくても、英語という世界を繋ぐ言葉に乗せれば、きっと地球の裏側まで届くはずです。鹿児島から未来へ向かって、私はこれからも熱い願いを胸に、言葉のバトンを繋ぎ続けます。